



平成 25 年 4 月 23 日

各位

会 社 名 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
取 引 所 東証一部・大証一部 (6594)
NYSE (NJ)
問合せ先 取締役専務執行役員 吉松 加雄
電話番号 075-935-6150

日本電産株式会社による日本電産コパル株式会社、日本電産トーソク株式会社及び
日本電産セイミツ株式会社の完全子会社化の決定並びに各社との合意に関するお知らせ

日本電産株式会社（以下、「日本電産」といいます。）は、本日、日本電産を株式交換完全親会社とし、子会社である日本電産コパル株式会社（以下、「日本電産コパル」といいます。）、日本電産トーソク株式会社（以下、「日本電産トーソク」といいます。）及び日本電産セイミツ株式会社（以下、「日本電産セイミツ」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、各社と合意しましたのでお知らせいたします。本件、決議の理由は以下の通りです。

記

昨今の経済情勢は、欧州で債務危機の出口が見えないまま景気低迷が長期化し、中国をはじめとする新興国でも景気停滞からの回復は限定的に留まり、厳しい状況が続きましたが、昨年度終盤になって金融緩和策が奏功して米国経済が徐々に上向き始め、国内経済も円安や政策の進展で景気や企業業績の回復期待が膨らみ、漸くボトムを脱する兆しが見えて参りました。

しかしながら、当社グループの主力製品であるパーソナルコンピューター関連、デジタルカメラ関連及び液晶パネル製造装置等関連の需要は、昨年度後半に想定を大幅に上回る急激な減少に見舞われ、対応策として当社は収益構造改革を断行致しました。このような当社グループを取り巻く事業環境の劇的かつ急激な変動に鑑みたと、グローバルな競争に打ち勝つには、当社グループ各社の強みを最大限に引き出しつつ、当社グループの総合力を高める更なる施策が必要となっております。

上記事情により、精密小型モータ分野において事業が重複する日本電産コパル及び日本電産セイミツ、車載事業分野で事業が重複する日本電産トーソクをそれぞれ日本電産の完全子会社とすることで意思決定の迅速化と機動的な企業経営を実現し、当社グループ全体のシナジーを向上させることが日本電産コパル、日本電産トーソク及び日本電産セイミツの企業価値拡大にとどまらず、当社グループ全体の企業価値拡大のために有益であると考えました。

なお、本件に関する詳細につきましては、本日、別途開示しているプレスリリースをご参照ください。

以上